

「秋田六郷店」の稼働率、前月比倍増。

「秋田六郷店」の稼働率が上昇

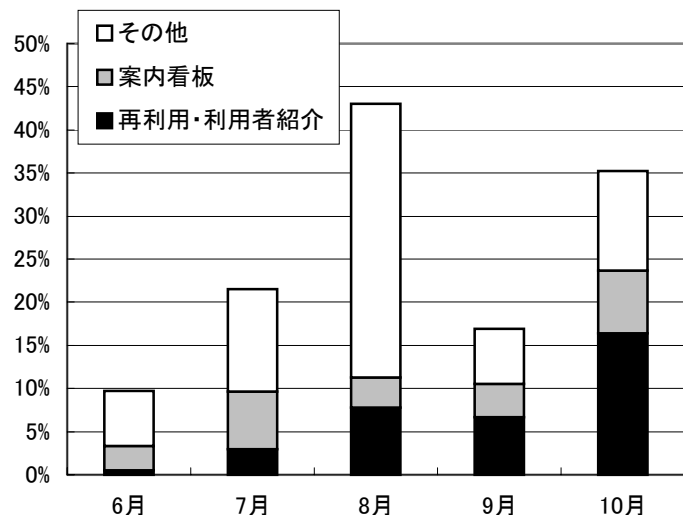
10月の客室稼働率は35%を超え、前月の17%から倍増しました。

これは、再利用または利用者紹介によるビジネス客が着実に増加したことによるものです。地方都市の郊外、しかも観光資源に乏しい地域での出店は、「旅籠屋」の将来性のみならず日本におけるロードサイドホテルの可能性を占うものでしたが、オープン後半年を待たずに稼働率が上昇したことにより、潜在需要の大きさと事業の堅実性を確信できる状況となりました。

店舗敷地内への案内看板の設置や周辺企業へ

のダイレクトメールの発送など、引き続き認知度のアップを図っており、すでに今月も稼働率の上昇が続き、上旬に限っては50%を超えておりますが、今後降雪期を迎えることもあり、現時点では、初年度の年間稼働率予想30%の上方修正は行わず今後の推移を見ていきたいと考えております。

「秋田六郷店」認知経路別 客室稼働率



「鬼怒川店」は大幅減、「那須店」は微増

「鬼怒川店」の稼働率は、春以来連続して前年同月を上回っておりましたが、10月は57%（前年同月：71%）にとどまり、前月の71%を14ポイント下回りました。ただし、7月の2室増室にもかかわらず7～10月の通算稼働率は前年並みを維持しており、基本的な増加傾向に変更はありません。

なお、認知経路ではホームページが20%（前年度15%）と、引き続き増加しました。

「那須店」については、10月の客室稼働率は36%で、前月の35%から微増となりました。平日利用を増やすことが稼働率アップの課題ですが、ビジネス客の割合が14%（9月は2%）と増えつつあります。国道4号沿いへの大型看板の設置や周辺企業へのダイレクトメールの発送など、引き続き平日利用の多いビジネス客の掘り起こしを行っており、その効果を期待しているところです。

以上

当社では、IR活動の一環として、今後も随時VIMEX会員の皆様にIR資料をお送りしてまいります。当資料以外にもVIMEXおよび当社のホームページにおいてタイムリーなディスクロージャーを行っておりますので、ぜひご覧ください。